



**COMIMAGA**

APRIL 2026

COMMUNICATION MAGAZINE  
CREATED BY  
OKAYAMA TOYOTA

VOL.

**101**



笑顔が創る輝く未来を  
**WONDERFUL  
 SMILE 2025**

INDEX / WONDERFUL SMILE 2025	01 - 04
NIIMIRAI ZADANKAI	05 - 08
新見新発見 / The Person.	09 - 10
竹の谷 蔓牛	11 - 12
Textile Next / あの日が教えてくれたこと	13 - 14
今、これが気になる。/ YOU&CAR	17 - 18
防災だって、芸術だ!!	19 - 20
防災検定 / 里海ノ記憶	21 - 22
DIG GUIDE / SMILE KIDS FES / SMILE EPISODE	23 - 24
教えて!トヨタン! / EDITOR'S NOTE	25 - 26

INDEX

**COMIMAGA**

APRIL 2026  
 COMMUNICATION MAGAZINE  
 CREATED BY  
 OKAYAMA TOYOTA **VOL.101**

COMIMAGAは  
 「いきいき」をテーマにお届けします。  
 お客様の日々も、わたしたちの働く喜びも、  
 地域の未来も、少しずつ前向きに動き出す。  
 情報をきっかけに人がつながり、  
 新しい一歩が生まれる。  
 心身ともに健やかな、いきいきとした明日を  
 共に創っていきます。



会社の取り組みをお披露目する場として、2017年から「笑顔が創る輝く未来を」をスローガンに掲げ、毎年異なるテーマで開催している「WONDERFUL SMILE 岡山トヨタ」。お客様・地域・団体様など、多くの皆様と共に創る参加型イベントです。創立80周年を迎えた2025年は、日頃の感謝の気持ちを込めた80周年感謝祭をテーマとして、11月29日・30日の2日間にわたり開催。会場となったコンベックス岡山の大展示場と屋外展示場には23のブースを設け、お子様からお年寄りまで5,700人もの来場者で賑わいました。



WONDERFULなSMILEといつまでも。





「あの頃の風景&懐かしのカルチャー」ブースでは、希少な初代クラウンなどの歴代車両と共に、1950年代から現代までの風景を再現。懐かしのおもちゃやレコード、ファッションなどに足を止め、思わず写真を撮る大人たちの姿が印象的でした。

クラウンの歴史を振り返るパネル展示や、4つの新型クラウンがずらりと並ぶ圧巻の「クラウンE.S.TORY」ブースでは、新型クラウンの試乗体験を楽しむ親子の姿も見られました。

子どもたちに大人気だったのが「キッズエンジニア」ブースです。かわいいミニサイズのエンジニアウェアに身を包んだちびっ子エンジニアたちが、プロと一緒に車の下にもぐったり、屋外で塗装体験をしたりと大活躍。真剣な表情に、未来のエンジニア誕生の予感です。

「80 チャレンジコーナー」ブースでは、創立80周年にちなんだ80秒ストップチャレンジや80cm紙テープカットなどのお楽しみゲームを開催しました。びったり80で商品をプレゼント。終始賑わいを

見せていました。

バンド演奏やダンス、クイズなど地元の皆様による様々なステージや、1日3回の大抽選会で大盛り上がり「80周年チャリティ特別ステージ」を中心に、大展示場は終始、賑やか。ブースを自由に行き来しながら、お楽しみいただけました。

屋外展示場には人気のグルメがずらりと並ぶ「飲食ブース」が登場。さらに、トヨタ自慢のオフロード車の走行体験は最長150分待ちとなるほどの人気ぶり。ダイナミックに走る車に、目を輝かせる子どもたちの姿が印象的でした。

遊びつかれたら「ゆったりくつろぎカフェ」ブースでひと休み。80周年オリジナルスペシャルブレンドコーヒーやオーガニックジュースをご用意しました。

創立80周年という節目にふさわしく「WONDERFUL SMILE 2025 岡山トヨタ」。お客様・地域・団体様、そして岡山トヨタが「共に創る」、まさに笑顔あふれる2日間となりました。

## 予告

みなさまの声で復活!

## 川柳大募集

テーマ:クルマとわたし。

応募方法:店頭またはホームページにて

応募締切:8月31日(月)

川柳大賞はワンダフルスマイル2026会場で発表

くわしくはこちら



次回[WONDERFUL SMILE]は2026年12月5日(土)、6日(日)コンベックス岡山で開催!



# NIMIRAI



新見版MaaS<sup>®</sup>の推進に向けた、第一回の実証実験「新見版GOトレ大学丸ごとデイサービス～もう一度キャンパスライフ～」開催前にプロジェクトメンバーによる座談会でそれぞれの想いを語っていただきました。

※MaaS (Mobility as a Service)とは、移動ニーズに応じて複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済などを一括して行う仕組み。観光や医療などと連携することで、移動の利便性だけでなく地域課題の解決にも寄与するとされる。

## ニイミライ 座談 会

Shunsuke Kajitani  
Masaho Suzuki  
Kenji Neishi  
Hiromi Kumon  
Tatsuya Ishihara

石原達也  
公文裕巳  
根石憲司  
鈴木雅穂  
梶谷俊介

# ZADANKAI

特定非営利活動法人  
みんなの集落研究所 会長  
石原達也 氏

公立大学法人  
新見公立大学 理事長  
公文裕巳 氏

一般財団法人  
トヨタ・モビリティ基金  
プログラム・ディレクター  
鈴木雅穂 氏



新見市 副市長  
根石憲司 氏

岡山トヨタ自動車株式会社  
代表取締役社長  
梶谷俊介 氏

## ニイミライ 座談 会

産学官民が一つのチームに。地域課題の解決に挑む。

### 実証実験

#### 「新見版GOトレ」とは？

「石原」今回の実証実験について簡単に説明させていただきま  
す。まず大きな特徴が「高齢者の  
方に新見公立大学へ来ていただ  
くこと」です。狙いは主に二つで、  
一つが電車や市街地循環バスなど  
の公共交通を実際に利用しなが  
ら移動に慣れてもらう。もう一つが介  
護予防・認知症予防。ゲーム、運動、  
DIY、料理などのプログラムを  
学生と楽しむことで、どのような  
効果をもたらすのか「実証チー  
ム」と「研究評価チーム」に分か  
れ、科学的な検証も行います。大  
学を介護予防の場として位置づ  
け、継続的に通える仕組みづくり  
を目指します。

「公文」新見公立大学は「課題先  
進地域の現場で人と地域をつく  
る」というキャッチコピーを掲げて  
いて、今回のプロジェクトは、学生  
たちの経験学習で「人をつくる」  
ことと、交通×福祉を通じて「地  
域をつくる」ことの両方につなが  
ります。これまで地域活動は、学  
生が現地へ行ってサポートするた  
め、その地域だけで完結し「点」  
になりがちでした。今回、大学が

実証実験の拠点になることで、  
「面」での広がりや、地域全体を  
考えるきっかけになると期待して  
います。

「梶谷」新見市には大学と行政が  
一緒に動ける土壌があり、新しい  
挑戦の可能性を強く感じていま  
す。今までは「大学⇨若者の場」  
でしたが、今回のプロジェクトを  
通して、幅広い世代の人が大学に  
寄り合い、街をどうする？と地域  
の課題を一緒に解決していく場  
になっていくのではないかと楽し  
みにしています。

### 車社会における 「免許返納」。

「根石」介護予防や介護保険事  
業は市の所管であり、また地域  
公共交通についても「芸備線再  
構築協議会」に参加し、芸備線に  
限らず新見市全体の公共交通を  
どうしていくのかという広い議論  
が生まれています。一方で高齢者  
の免許返納の話があっても、車  
がないと買い物もできない地域性  
があり、なかなか車を手放すこと  
が難しい現実もあります。その結  
果、公共交通が利用されにくく、  
車依存が進んでいると感じていま  
す。今回のプロジェクトは「介護  
予防」と「地域公共交通」両方の

課題解決を目指す取り組みであ  
り、市にとってもとてもありがた  
い事業です。

「石原」たしかに以前、田治部地  
区で「全国の平均だと70代後半  
くらいで免許返納を考えると」  
という話をした時、大笑いされま  
した。「70歳で返納する人なんて  
田治部におらん」と（笑）。全国  
平均ではなく、新見の現状を念  
頭におく必要性を改めて感  
じました。

「梶谷」我々は、車の販売から始  
まり、「すべての人の移動の自  
由」を大きなテーマにしてきま  
した。車は移動の自由をもたら  
しますが、逆に免許を返納すると一  
気に自由が失われ、元気が無  
くなってしまふ…そうではなく、  
返納後の移動の自由も確保で  
きる仕組みをどうつくるかに踏  
み込んでいく必要があると考  
えています。

### 広げ、続けるための 「科学の力」。

「鈴木」本プロジェクトはおよそ3  
年前くらいから少しずつつくり上  
げてきたもので、2025年から  
今回の皆様と一緒にさせていただ  
きました。高齢者の健康だけで  
なく、コミュニティへの参加、移動

による地域交通事業の活性化、地域アセットへのフィードバックと、良い循環を生み出すポテンシャルがあると感じます。これまでの参加者のみなさんを見てみると本当に楽しそうで、プログラムを重ねるごとに、みなさん服装もだんだんあでやかになるように感じます。一方で、これまでの取り組みは「効果の可視化」ができていませんでした。プロジェクトを様々な地域に展開する、その時必要な「科学的な検証」の説得力です。今回、新見公立大学様に効果の科学的な検証をしていただけること、そして産学官民が一体となった大きな枠組みができたことに、大きな意味があると感じています。

【石原】今回、大学でレクリエーション、運動、料理などを体験していただき、AIで脳の健康状態や表情、認知度合い、会話量などの測定を行います。大学として学術的なアプローチをしっかりしていただくことも、一つのポイントです。

【公文】介護予防や健康維持は、評価しながら改善していかねば続ぎません。評価システムをつくり、プログラムを磨いていくことは我々大学の役目だと思っています。

ます。中山間地域で健康福祉を本気で考える新見公立大学には、その使命がある。新しいテクノロジーも活用しながら、より効果的な評価仕様をつくり、それを他地域にも提供できる形にしていこう。そこまで含めて、大学の仕事だと考えています。

### 新見モデルを全国へ。

【根石】新見市には健康福祉、公共交通、地域運営など、難しい中山間地域の課題があり、今回の取り組みは、それら全てを対象にした新しい事業です。これが持続可能な形となることで、新しい介護保険事業支援計画にのせていければと期待しています。

【公文】今回の参加者から見ると、大学生はまさに孫世代。学生と交流するだけで高齢者が自然と「元気になる」その体験自体がこのプロジェクトの価値です。一方で、学生も高齢者から学ぶことは多いと思います。学生の約75%は県外出身ですので、この取り組みをふるさとに持ち帰り、ひいては日本各地の中山間地域が元気になるばと思います。

【鈴木】まずは地域の高齢者にとって本当に役立つプログラムになること。科学的根拠を含めた

「新見モデル」として展開できる形になること。そして新見公立大学の意欲的な学生たちと高齢者の間で、新しい出会いや学びが生まれることで、他地域にも良い刺激や影響が広がるのではないかと思います。

【梶谷】地域の課題は、行政だけ、大学だけ、企業だけ、NPOだけでは、解決できません。それぞれ得意を使いながら一緒に挑む一つの大きなトライアルになると思います。岡山トヨタは「共創の環をつなぐ」というビジョンを掲げています。今回はまさに、分野や世代の違いを越え、環が広がっていく、そんなプロジェクトになると感じています。



座談会を聞いていた、新見版GOTレに参加する学生と撮影。

高齢者も学生もお互いに学びある場づくりを。



### 2025年11月22日、第1回「新見版GOTレ」を実施

田治部地区から10名が参加。大学構内で体操や講義、昼食(学生が調理)などを通じて交流し、介護予防や健康づくりの効果検証を行いました。電車遅延により移動はバスへ変更されましたが、大きなトラブルなく円滑に実施されました。



備北の奇祭 *Pick up*  
「新見土下座まつり」

新見の城下町で毎年10月15日に行われる、約300年の歴史を持つ伝統行事で、正式名称「御神幸武器行列」。甲冑や袴姿の行列がまちを練り歩き、沿道の人々がひざまずき頭を下げて迎える全国でも珍しい神事です。

### 大月醤油醸造場

明治38年創業、今年で121年目を迎える大月醤油醸造場。薪を使った大釜での火入れという伝統製法にこだわり、変わらぬ味を守っています。四代目・大月勝功さんは、その美味しさを広めたい一心で飛び込み営業を重ね、全国に販路を拡大。2024年に改装したモダンな店内で、醤油アイスと井倉峡の景色をお愉しみください。

岡山県新見市井倉240番3号  
TEL 0867-75-2306  
◎7:00-18:00  
◎第3水曜  
◎6台



# 新発見



# 新見

新見の魅力  
を発見 & 発信



### おばはん食堂

「地域の人も観光の人も気軽に立ち寄れる場所」がコンセプトの、おばちゃん手作りの家庭の味が楽しめる食堂です。日替わり定食は肉or魚から選べる他、欲張りな方用に「どちらも定食」もあります。お子様連れに嬉しいキッズスペースも完備。気さくなご主人との会話に心がホッとします。

岡山県新見市新見858 御殿町センター内  
◎日替わり定食 11:00-14:00  
◎珈琲タイム 10:00-17:00  
◎日曜・月曜  
◎13台(御殿町センター共有)



### 和牛レストラン ふゆさと

千屋牛の美味しさをより多くの方に知っていただきたいという想いから、手の届きやすい価格でステーキを味わえるお店です。人気No.1はBセット「おまかせステーキ」。仕入れ状況に応じて、人気部位の中から最適部位を厳選します。赤身中心で重たすぎず、千屋牛の旨みと脂の甘みをダイレクトに味わえる一皿です。

岡山県新見市千屋実1428-1  
TEL 0867-77-2635  
◎11:00-15:00  
◎火曜・水曜(祝日の場合は営業)  
◎15台



# The Person.

n 1

岡山トヨタには  
車を想う人がいます。

整備士の専門学校を卒業し、新卒で入社してから今年で13年目になります。今は岡山トヨタ笠岡店でエンジニアをしています。全員で11人の店舗で、わきあいあいとした雰囲気。長く働いている人が多いですね。弊社には年に一度社内コンクールがあるのですが、昨年度サービス部門で優勝することができました。整備の速さや知識、お客様対応を競います。とても緊張したのですが、この結果が自信につながっています。エンジニアの仕事は、定期的な点検や整備、不調や故障に伴う診



武政直樹さん

Naoki Takemasa

上級エンジニア

The Person. KASAOKA



断をするだけではありません。点検・整備の内容や、故障箇所に対してどのような対応を行うのかを、どなたにも分かりやすくご説明するのも大切な仕事。これが、私が一番難しいと感じているところです。「調子が悪い」とご相談があったとき、どこに、どのような違和感が出ているのか。そこにお客様と認識のズレがあると、不安は解消されません。そこで重要となるのがお客様との対話です。実は人と喋るのが得意な方ではないのですが、お困りのお客様にどれだけ寄り添えるかを意識しながら、5W1Hを活用し、その時の場面が鮮明にイメージできるように、段階的に質問を絞っていくようにしています。今後は、様々なお客様の要望やクルマの進化に対応できるように、一級整備士の取得も目指したいです。



岡山トヨタ 笠岡店

岡山県浅口郡里庄町浜中726-1  
TEL 0865-64-3191



The  
Origin  
of  
Wagyu  
Takenotani  
Tsuruushi

たった一人の継承者。

<sup>つるうし</sup>蔓牛とは、江戸時代末期から中国地方で育てられてきた、体格・発育・繁殖などに優れた和牛の系統群。なかでも日本三名蔓の一つ新見市の「竹の谷蔓牛」は日本最古の蔓牛とされ、和牛のルーツともいわれている。戦後、役牛は肉用牛への改良が進み、やがて国の後ろ盾のもと、輸入牛肉との差別化のための和牛肉の「霜降り化」が加速した。そんな時代の潮流に流されず、地域に伝わる純粋種を50年近く守り続けてきたのが平田五美さんで、現存するのは全国でわずか約40頭のみとなっている。若い頃から自ら飼料を作り、山で仕事をし、体も資金もすべて牛に捧げてきた平田さん。「メンデルの法則が出るずっと前から、ここでは優良系統の遺伝子の維持・固定をしていた。こちら一帯は牛の産地で、みんな牛を育てよった」と、平田さんはつい昨日のことのように語る。

守るために、今できること。

「希少な系統と文化が途切れそうなのに、平田さんがたった一人で守っているような状態だったんです」。自身も「和牛の親子放牧」に取り組む会社を営んでいた、竹の谷蔓牛活用推進協議会 幹事長・井石和美さんは、竹の谷蔓牛と平田さんのことを知った瞬間「これは守るべきものだ」と感じた。そしてそのために、認知を広げ、経済につなげ、研究を続け、多方面に活動をしている。「守る」だけでは、守れないのだ。

竹の谷蔓牛は引き締まったアスリートのような体格をしている。広域改良をされていない牛本来の姿だ。その希少性をつなぎ、評価してもらうことが協議会の役目。平田さんが守ってきたのは遺伝子だけではなく、日本の和牛の歴史そのものだった。

竹の谷蔓牛  
飼養者／平田五美氏 Itsumi Hirata  
竹の谷蔓牛活用推進協議会  
幹事長／井石和美氏 Kazumi Iseki

和牛の源流  
竹の谷蔓牛



児島は全国屈指の学生服の産地。  
使われなくなった制服生地を  
新たな商品として  
再利用する活動に取り組む  
「岡山県立倉敷琴浦  
高等支援学校」を取材しました。



# Textile Next

使われなくなった制服生地に、  
学生たちの手で新しい価値を  
吹き込んでいく。

倉敷琴浦高等支援学校は、地域  
や企業様と連携したものづくり  
や販売などの実践的な学びを通  
じて、学生たちの就労と社会的自  
立を目指す特別支援学校で、家  
政、流通サービス、環境サービスの  
3つのコースがあります。  
制服生地アップサイクル活動には  
家政コースの学生が参加。制服の  
デザインが変更されるなどの理  
由で使われなくなった制服生地  
を企業様からいただき、市販の生  
地と合わせて、新たな製品へと学  
生たちの手で生まれ変わらせて  
います。またつくるだけでなく  
「教える・伝える」ことも学生た  
ち自身で行えることを目指して  
います。



## Students' Voices



家政コース 3年  
**平松 呉馬** さん  
Kouma Hiramatsu

デニムコースター、ポケットティッシュ  
ケース、デニムのエプロンなど様々な  
ものをつくりました。少しでもずれると斜め  
になるので難しいですが、とにかくきれ  
いなものをお客様に届けたいと思って  
います。今後は、交通系ICカードなどを入  
れるカードケースをつくってみたいです。



家政コース 2年  
**橋本千明** さん  
Chiaki Hashimoto

つくってみたいのは、表裏で生地・柄が  
違うリバーシブルのバッグです。その日  
の気分によって変えられるようにでき  
るといいと思います。琴浦高等支援学  
校ならではの商品を販売しているので、  
地域の方にももっと知っていただき、後  
輩に継いでいきたいです。



岡山の町に大きな被害をもたらした  
2018年7月の豪雨(西日本豪雨)。  
人と人が助け合い前を向く、復興への歩みが  
そこから生まれ、今も続いています。

# あの日が教えてくれたこと

Since July 2018



岡山県岡山市北区北長瀬表町  
2丁目17-20 みはらしプラザ1F  
TEL 090-6958-1166  
◎ 9:30-16:00  
◎ 月曜・火曜  
◎ 北長瀬未来ふれあい総合駐車場



西日本豪雨で被災地への炊き出しを行なったぬるま湯キッチン代表・青木さん。真備の方々の出会いや、想いに賛同したみなもと建築工房様の協力でキッチンを借りて「ぬるま湯キッチン」はスタートしました。「食べて真備を応援する」ため真備の農家の野菜を使った、月に一度の「ここから弁当」を販売し、売上の一部を被災地への支援金としています。「人と人とのつながり」をテーマに、転勤族の多い岡山で子どもを安心して預けられて、地域の子どもたちをみんなで見守り育てていける場づくりに取り組んでいます。

## ぬるま湯キッチン



岡山県倉敷市真備町岡田280-2  
TEL 086-698-0700  
◎ 11:00-16:00  
※カフェは5月までお休み  
◎ 4台~5台  
※定休日、イベント開催、レンタルスペースについてはInstagramをご確認ください。



車椅子 OK  
ペット OK

西日本豪雨で自身も被災した、ののくさかふえtea茶のオーナー・片岡さん。「話す」「食べる」が当たり前にできることの幸せを実感し、誰もが元気を取り戻せる場を再びつくりたいとの想いと、復活を望む声に応え、お店を再開しました。カフェ、レンタルスペース、イベントも開催。訪れた人を「ようこそ」と迎える片岡さんのあたたかさも魅力です。地元旬野菜や和ハーブを取り入れたランチは、体の中から元気になれる味わいです。「人が集まる場を提供できることが幸せ」と話す片岡さん。集う一人ひとりが主役になれるひとときが生まれています。

## ののくさかふえtea茶





Long way. my way.

今、  
岡山トヨタ  
スタッフの  
What  
Okayama Toyota Staff  
Are Into Right Now

これが

気になる

岡山県の様々な店舗で働き、  
様々なお客様と出会う、  
岡山トヨタスタッフ。  
そんな情報通(?)のスタッフたちが  
今気になっている、  
おすすめの情報をご紹介します。

メディカルハーブ×癒しの完全予約制サロン。



### herb&stone healingroom Aise

癒しのプライベート空間で、ハーブテント、温活、体質ケアなどを体験できます。オーガニックメディカルハーブをその日の体質に合わせてブレンド。お子様連れや男性もOKで、仕事帰りでもお立ち寄りいただけます。「メンタルの駆け込み寺」のような存在で、「人を癒したい」というオーナーの想いがとても印象的。心と体のリフレッシュや、花粉対策にもおすすめです。また、パワーストーンのカウンセリングも行っております。

岡山県津山市山方1869  
TEL 090-3173-4981  
Ⓧ 9:30-要相談  
Ⓣ 不定休  
Ⓝ 2台



### Royal Quality Market (RQM)

岡山の果物ギフトブランドRQMから新商品が登場。倉敷発の化粧品ブランド「SHIKI beauté」のハンド美容クリーム「Peach Drop Hand」は、岡山県産・清水白桃の果汁と葉のエキスを贅沢に配合。軽やかでべたつかず、やさしい桃の香りと、妖精を描いた愛らしいパッケージで気分が高まります。日常使いにも贈り物にもおすすめです。

【取扱い代理店様募集中】

TEL 086-441-4802  
Ⓧ 10:00-17:00  
Ⓝ 土日祝



障害があっても「楽しむ」を諦めない。



### 岡山バリアフリープールプロジェクト

2022年、脊髄海綿状血管腫を発症し、10時間もの手術と7ヶ月のリハビリを経て車椅子生活となった長尾さん。子どもの願いをきっかけに「イオンファンタジー 子ども応援プロジェクト『ララ夢』」で車椅子での親子プールを経験したこと、持ち前の運動神経と行動力をいかし、障害でチャンスを決めている人にも「楽しむ場」を届けるべく任意団体を立ち上げ、年1回バリアフリープールのイベントを開催しています。

任意団体「まなていの輪」岡山バリアフリープールプロジェクト  
代表 長尾優子 特別支援学校教諭(県内唯一の車椅子教員)  
メールアドレス manatus731@gmail.com



### SUN CACAO

ご夫婦でbean to barチョコレートとヴィーガン&グルテンフリーのお菓子を作るSUN CACAOさん。「身体に優しい」「環境に優しい」「生産者に優しい」の3つをととても大切にしています。店内にはお菓子だけでなくドリンクもあり、こちらとてもおすすめ◎環境問題にも熱心に取り組まれるご夫婦を始め、すべてが優しさであふれる、心も体も幸せになるお店です。

岡山県倉敷市福江753-1  
TEL 070-8592-2196  
Ⓧ 13:00-17:00  
Ⓣ Instagramの投稿をご確認ください。  
Ⓝ 店舗前6台、店舗付近2台  
※量り売りですのでマイ容器ご持参をお願いいたします。



岡山・倉敷発。果物の魅力を生かしたギフトブランド。

クラウンクロスオーバーのオーナー、萩原工業株式会社代表取締役社長・浅野和志さん。「入社して初めてローンで買ったのがマークIIでした。その後は長男の誕生を機にエステイマへ。背の高い深緑色で、上が開くやつです」と、愛車の歴史を懐かしそうに振り返る。

自宅から会社までは片道約26km、車で約50分。22歳で入社し40年の通勤だと、丸2年間は車に乗っている計算になるという。だからこそ浅野さんは昔から車内での時間を大切にし、音楽だけでなく、ラジオや朗読、英会話を聴く時間に充ててきた。

「プロ野球シーズンになると野球ばかり聞いてますけどね。カーブファンなので」と笑う。

社長就任後、自車での通勤は週1〜2回に。「若い頃はできるだけ早く着きたい一心でしたが、この歳になるとゆっくり行こうと。桜がきれいなスポットや、蝉の声が大きい場所、海沿いの道もある。特にこの辺りは蓮根畑が多くて蓮の花で心が和みます。四季を感じています」と嬉しそうに話している。浅野さんと話していると、その肩書を思わず忘れてしまう。

「社長の仕事は笑うこと。ただし辛い時もやと、ある尊敬する方から教わりました。しかめっ面をしていても福も人も寄ってこない。それから常に笑うようにしています。」

社長の顔と、40年目の社員の顔。どちらも合わせ持つところに人を惹きつける人柄の理由があった。



# YOU & CAR

相棒と、今日もどこかへ。

## 01

萩原工業株式会社  
代表取締役社長  
浅野和志さん

Kazushi Asano HAGIHARA INDUSTRIES INC.

倉敷市に本社を置く産業資材メーカー。ブルーシート、土木建築用資材や産業機械などを主力に、暮らしや社会インフラを支える製品を幅広く展開。現場の使用環境や課題に引き合いながら、時代の変化に対応する製品開発と改良を続けている。



ゲームで遊んで普段から防災を身近に!



マスクにも、衝撃吸収にも。



目や耳が不自由な人でも情報が分かるアンテナ付き。



簡単につくれるテントとランタン!



必要なものを詰め込んだレジャーシート製のバッグ。



消毒からごみ捨てまでこれ一つ◎



散乱した破片から足を守る。



避難所で一人になりたい、そんな時に。



持ち運びやすいミニ袋!コップ入り!



溺れた人を救え!ペットボトル入り浮かぶバッグ。

# KURASHIKI

子どもたちの自由な発想が大爆発!  
2025年度ジュニア防災自由研究  
「未来の防災グッズ」をご紹介します。

# 防災だっつて、



聞く人の言語で聞こえるので海外でも安心!



持ち手は外してハンガーとしても使える。



どれだけ入れても重くならない魔法のリュック。

# NODA

# 芸術だ!!



逃げる時でも足が痛くない!



水に濡れたら浮かんで居場所をお知らせ。



洪水時の移動用イカダ。



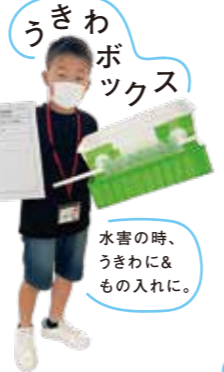
装着すると避難所までの道が見えるコンタクト。



避難所での着替えに!夜用ライトとマラカス付き!



アレルギーのある人や赤ちゃんのために。



水害の時、うきわに&もの入れに。



濡れてもOK!まくらにもなる!



ふりまわして助けを求める&ものまで入る



水道が使えない時に。かけて使えるハンガー型。



食料や包帯入り&迷子時のSOS付き!



水を濾過できる&便利な吸盤つき。



水害時に水を吸い込む!断水時は水を吐き出す!

# HIGASHI OKA YAMA



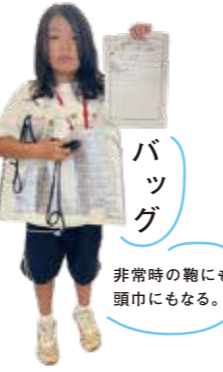
ライトで照らすとやさしく光る。



緊急時はまず頭を死守!



ベルを6回ならして助けを呼ぶ!



非常時の靴にも、頭巾にもなる。

# KOUNAN



ガスジェットで空に浮いて津波を回避!



キラキラして見つけやすい☆



ガスや水から逃れるマスク。



水害時に食料を浮かべてお届け。

晴れの国おかやまだからこそ、  
防災意識の向上を目指して  
2016年から取り組んでいます。

## ジュニア防災検定 & 防災検定

2025年度もジュニア防災検定&防災検定を開催しました。第10回を迎え、過去最多となる77名の方に受験いただきました。日頃から災害に備えるための知識についての筆記試験を開催。また、お子様たちは「未来の防災グッズ」を作成しました(P19-20に掲載)。お客様、地域の方々、幅広い年齢層の方々と共に“防災”に対して向き合う楽しい時間となりました。



岡山トヨタの  
お店が  
会場です!

夏休みの自由研究!日頃の備えの学びに!

第11回 **ジュニア防災検定 & 防災検定**

2026 **7/18** (土)

受験申込は店頭またはホームページから →  
検定提供団体:一般社団法人防災教育推進協会



残  
し  
た  
い  
記  
憶  
。  
百  
年  
先  
へ、

## 里海ノ記憶

### Satoumi no Kioku Episode 01

#### 豊かな里海の基盤「アマモ場」

瀬戸内海では、水質の悪化による「アマモ場」の減少を食い止める再生活動が、約40年にわたり続けられています。アマモ場とは海底に広がる海藻の群落で、生き物のすみかとなる「海のゆりかご」や、波を弱める「天然の消波堤」とも呼ばれ、近年ではブルーカーボンとしても注目されています。岡山トヨタは、カーボンニュートラルを取り組みの柱の一つに入れ、2023年から様々なアマモ場再生活動に参加してきました。2025年11月には玉野市・胸上漁協で行われたアマモ場の実証試験に参加。アマモ場再生の第一人者、NPO法人里海づくり研究会議の理事・田中文裕さんにお話を伺いました。

#### 漁師たちと歩んだ、40年ごしの挑戦。

1981年、岡山県の水産課に所属していた田中さんは、日生の漁師・本田さんと出会い、アマモ場再生に取り組み始めました。当時は研究や技術もない暗中模索で試行錯誤を重ね「考え得ることは全部やった」と田中さん。やがて研究者や企業などが協力チームに加わり、日本初のアマモ再生マニュアルが完成しました。再生を遂げた日生は「アマモ再生の発祥地」と呼ばれています。

#### 考える、試す、続ける。

再生できない大きな要因は、海の底質が細砂化して流動性が高くなり、アマモ幼芽が着床できないこと。そこで、種子を自然分解される新素材「ベンリゼ」に包み、天然繊維のヤシマットと組み合わせる新技術を開発し、今回初の実験に挑みます。重要なのが「牡蠣殻」。過去の調査で、アマモが残る場所には必ず牡蠣殻があり、海底で基盤を安定させることが分かりました。アマモ場再生は「新たに造成すること」ではなく「元の姿に自分の力で戻れるまで応援すること」だと田中さん。その想いや活動を未来へ受け継ぐことこそ、里海を守る営みだと感じました。

NPO法人  
里海づくり研究会議 理事  
田中文裕氏  
Takehiro Tanaka

日生の漁師と協力し1981年からアマモ場再生の活動に取り組み、アマモ場再生の第一人者。



# まちを



# 知る。

岡山トヨタ各店周辺の

「もしも」のとき情報をスタッフがまとめました！  
もっとふだん使いに！

気軽に立ち寄れる場所がもしものときの役に立つ。  
岡山トヨタを「居場所」としてご利用ください。

2018年の西日本豪雨をきっかけに、岡山トヨタは2019年に初めて「DIG GUIDE ブック」を制作。スタッフが店舗周辺を実際に歩き、地域の声を聞きながら内容を更新してきました。2023年度には岡山県との「災害時の帰宅困難者支援協定」締結にあわせて伝言ダイヤルを追記。2025年度は「地域の居場所情報」も加わったマップが完成しました。



# まちで



# 過ごす。

子ども食堂やコミュニティの場、  
地域のおとなや社会とつながることのできる  
「居場所」をご紹介します。

今回、DIG と居場所情報の同時掲載は、  
一般社団法人ジンジャー・エール 東 由加様との  
会話がきっかけで実現しました。

掲載している情報が、誰かの何かの役に立ってほしい。そんな想いを込めて作りました。マップを囲んで家族の会話が増える、そんなひとときが生まれたら。DIGの情報とあわせて、もっともっとふだん使いしてほしいです。

掲載にご協力いただきました地域の皆様に、  
心より御礼申し上げます。



ここで働くわたしたちだからこそわかる。ここにいるわたしたちだからこそできる。

各店舗周辺のDIG GUIDE／居場所マップはこちら →

印刷した冊子は岡山トヨタのお店でお渡ししています。



# SMILE KIDS FES

「ナイストライ！」と笑顔が  
飛び交う天然芝のピッチ！

スマイルキッズフェス  
サッカーゲーム

2025年12月14日にJFE晴れの国スタジアムにて「スマイルキッズフェス」を開催しました。岡山トヨタとSol-Tesoro FC/Academyが定期的を開催しており、子どもたちの外遊びの促進をはじめ、子育て支援、スポーツ振興に向けた活動を継続しています。今回は6歳以下の子どもたちが参加。親子での運動からはじまり、プロも使う憧れの天然芝のピッチで試合を行いました。勝ち負けにこだわらず前向きな言葉をかけあうのがルール！今回もたくさんのスマイルに出会えました。

SPECIAL THANKS

吉備国際大学Charme岡山高梁・ハレクティオ岡山  
環太平洋大学Rainbow Caravan・創志学園高校フットサル部



## スマイルエピソード SMILE EPISODE

みんなの笑顔で、みんなが笑顔に。

SMILE EPISODE

クータン / 倉敷市 / 77歳

総社に住んでいる孫が毎朝自分たちがラジオ体操をしている所を自転車で通学しています。野球部に属していますが、まだレギュラーではありません。くじけずにガンバレ!



SMILE EPISODE

よしみん / 備前市 / 54歳

毎年開催されている「三石灯りの街」地上絵がすばらしく私に笑顔と感動をありがとうございます。

SMILE EPISODE

すっちゃん / 岡山市中区 / 35歳

娘の笑顔です。先日、岡山トヨタさんとSol-Tesoroさん主催の「スマイルキッズフェス in JFE晴れの国スタジアム」に、娘と初めて参加させていただきました。サッカー場のセンターラインに立ち、そこで娘の写真を撮ることができたのも、親として忘れられない思い出です。最初は人見知りで、初めて会うチームの仲間やコーチに緊張していた娘。けれど、サッカーを通して少しずつ距離が縮まり、気づけば仲間と話し、笑い、楽しそうにボールを追いかけていました。普段なかなか見ることのできない、「初めて会う子どもたちと、どう関わり、どう楽しむのか」その成長の瞬間を間近で見ることができ、娘の笑顔が、何よりも私を笑顔にしてくれました。来年も開催されるのであれば、ぜひまた参加させていただきたいです。素晴らしい体験を、本当にありがとうございました。



募集要項

応募方法

岡山トヨタホームページ →  
こちらのフォームからご応募ください。



応募条件

- ①あなたが笑顔になったエピソードと、それにまつわる写真をそえてご応募ください。
- ②応募作品およびペンネームの著作権は岡山トヨタに帰属します。
- ③その他詳細は、ホームページをご参照ください。



Publisher

OKAYAMA TOYOTA MOTOR CORPORATION

Creative Director

Hideto Sato | HIDE TO SATO DESIGN

Art Director

Hideto Sato | HIDE TO SATO DESIGN  
Satoshi Takijiri | Parityclub

Title Design

Hideto Sato | HIDE TO SATO DESIGN

Designer

Satoshi Takijiri | Parityclub

Photographer

Shinpei Kato | Kato Shinpei Photo  
Atsuo Matsuura | kon  
Taizo Yamada | Yuku Photo

Illustrator

Rio Kadowaki | Parityclub

Copywriter/ Editor

Nozomi Inoue | sog



OKAYAMA TOYOTA

発行:岡山トヨタ自動車株式会社  
本社 岡山県岡山市北区大供3丁目2-12  
TEL (086)233-1112(代)

お客様相談窓口 (携帯電話もOK!)

**0120-332611**

[お電話の受付]  
月~土(日曜・祝日は除く)10:00-17:00

【店休日のお知らせ】

- 毎週火曜日・毎月第1・第3日曜日  
野田店・東岡山店・倉敷店・東津山店・PLATPORT
- 毎週水曜日・毎月第1・第3日曜日  
岡南店・備前店・水島店・児島店・笠岡店・総社店・  
真庭店・岡山店・U-Car伊島

※定休日追加のお知らせ  
2026年6月より毎月第1日曜日が  
追加になります。

お住まいの住所が変わりましたら、担当スタッフまたは、  
お客様相談窓口へご連絡をお願いいたします。

本誌掲載のデータは2026年2月現在のものです。

本書の無断複写(コピー)は著作権法上での  
例外を除き、禁じられています。

©OKAYAMA TOYOTA 2026  
Printed in Japan



編集後記 EDITOR'S NOTE

101号を迎え、新しくなった本誌はいかがでしたか。「現場の声をまっすぐに届けたい」という想いのもと、企画段階からクリエイターの皆様と直接対話を重ね、一冊をつくり上げました。

「COMIMAGA」は、スタッフがお客様とのつながりの中で感じたことや、ふと心に残ったことから生まれます。そのきっかけの背景にあるスタッフの想いや挑戦も、皆様に少しでも伝わっていたら幸いです。取材では、真っ白な雪景色の県北と、真っ青な快晴の瀬戸内海を同じ日に目にするという、岡山ならではの贅沢な経験もありました。景色は違って、どの場所でも同じだったのは、ひたむきに何かを思い、日々を大切に生きる方々の姿でした。

いつも温かく見守ってくださる皆様、本当にありがとうございます。これからもCOMIMAGAは、皆様からの声を大切につくってまいります。ぜひご感想や、身近なニュースもお寄せください。

今号にて取材にご協力していただいた皆様ありがとうございました。

次回は7月発刊予定

読者プレゼント

5名様

ハンド美容クリーム  
**Peach Drop Hand**  
を抽選で5名様にプレゼント

岡山の果物ギフトブランドRQMの新商品。倉敷発の化粧品ブランド「SHIKI beauté」のハンド美容クリームです。岡山県産・清水白桃の果汁と葉のエキスを贅沢に配合し、軽やかでべたつかない質感が魅力です。  
→詳しくはP17



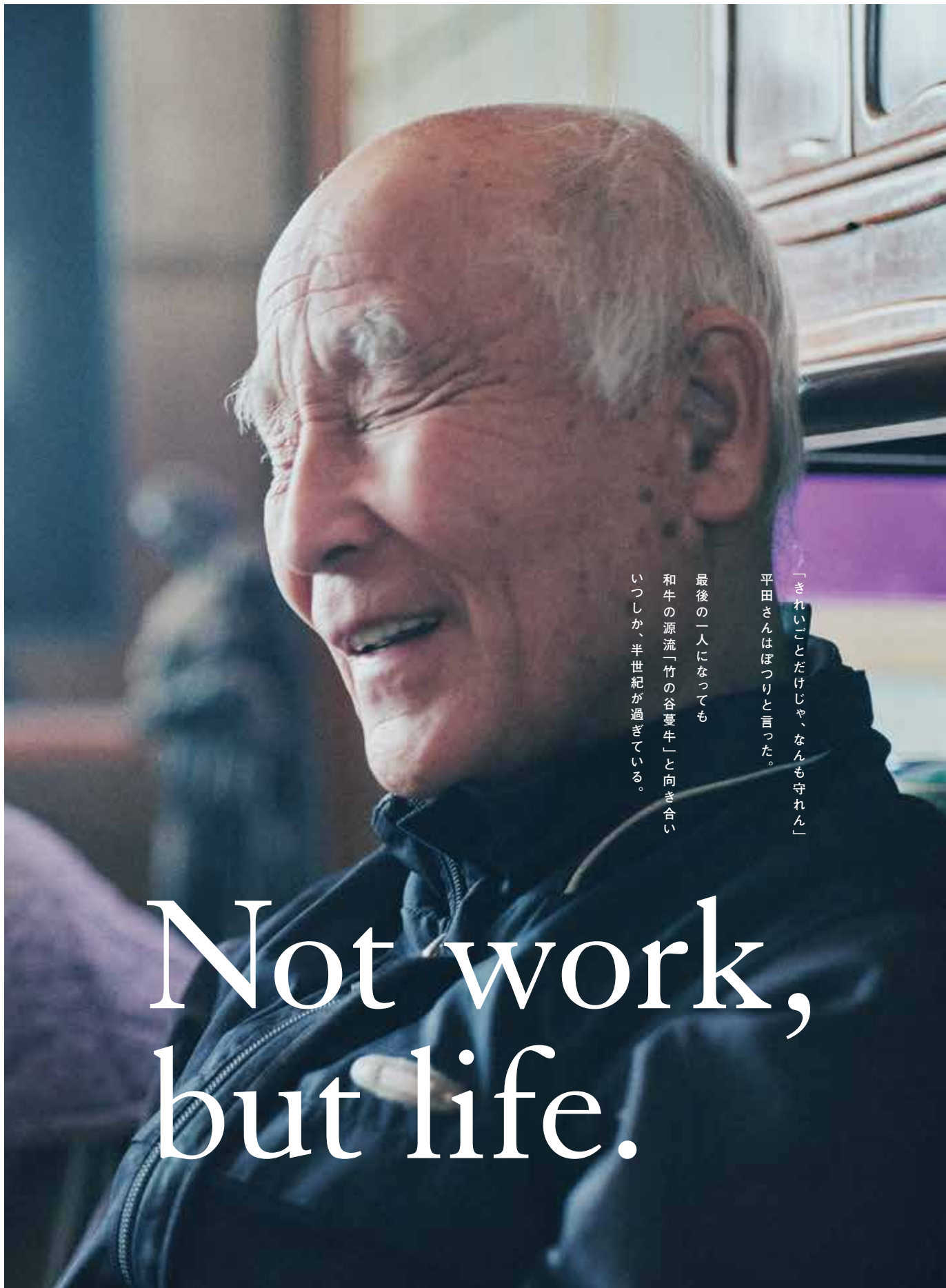
応募方法

[右記フォーム]または[官製ハガキ]からご応募いただけます。  
住所・氏名・年齢・電話番号・良かったページ・  
あなたからのおすすめ情報をご記入のうえご応募ください。



〒700-0913 岡山市北区大供3丁目2-12  
岡山トヨタ自動車株式会社 教育・店舗企画グループ

[応募締切] 令和8年6月30日(火) ※当選者の発表は当選者へのご連絡をもって代えさせていただきます。  
※ご提供いただいた個人情報、本企画の抽選・発送および誌面づくりの参考として使用し、第三者へ提供することはありません。  
※ご応募をもって、本内容に同意いただいたものとします。



「きれいごとだけじゃ、なんも守れん」  
平田さんはぼつりと言った。

最後の一人になっても

和牛の源流「竹の谷蔓牛」と向き合い  
いつしか、半世紀が過ぎている。

Not work,  
but life.

あなたと、わたしで。

  
OKAYAMA  
TOYOTA